

## 南オセチア自治州をめぐるロシアとグルジアの軍事衝突に抗議し 一刻も早い停戦を訴える声明

2008年8月8日、平和の祭典である北京五輪に世界中が注目している最中に、南オセチア自治州を巡り、ロシアとグルジアによる戦争が勃発した。報道では、この戦闘において、南オセチア自治州内の死者が二千人に拡大しているとも言われている。

世界を動かす大国の指導者たちは、五輪における自国の勝敗に一喜一憂するのではなく、一刻も早い停戦のための行動を最優先すべきである。

我々は、世界で起きている戦争の現実に対してしっかり目を向けなければならない。今回の戦争は民族紛争、国家分離紛争が原因であると言われている。その背後には、石油資源の争奪なども孕む政治的思惑があることは明らかである。しかし、その犠牲となるのは常に弱い立場の者である。

JR総連は、いかなる理由があろうとも、一切の武力による外交に対して断固反対するものであり、非戦闘員・市民の人々の犠牲を拡大させないために、両国に軍事行動の即刻停止を訴えるものである。

2008年8月11日

全日本鉄道労働組合総連合会